

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【公表番号】特表2006-511643(P2006-511643A)

【公表日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2006-014

【出願番号】特願2004-563682(P2004-563682)

【国際特許分類】

C 0 8 G 63/60 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 63/60

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月19日(2006.10.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

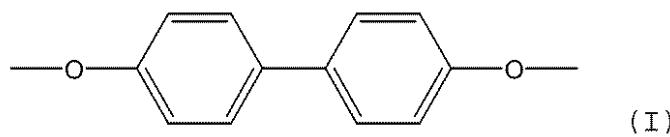
【特許請求の範囲】

【請求項1】

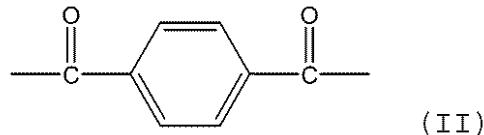
次式：

【化1】

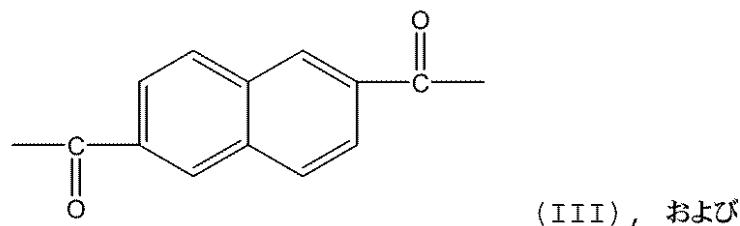
(a)



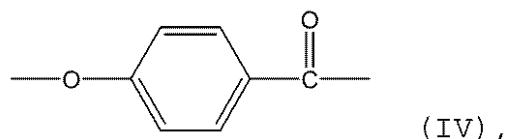
(b)



(c)



(d)



(式中、(I)の100モル部に対して、(II)は85～98モル部であり、(III)は2～15モル部であり、(IV)は100～210モル部であって、ただし、

(I)/(II)+(III)のモル比が、約0.90～約1.10であり、(IV)が175モル部以上のとき、(III)が2～10モル部であり、および前記液晶ポリマーの融点が400以上であることを条件とする)の繰り返し単位から本質的になる液晶ポリマーを含むことを特徴とする組成物。

【請求項2】

前記モル比が約0.95～約1.05であることを特徴とする請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

5～約1000ppmのアルカリ金属カチオンをさらに含むことを特徴とする請求項1または2に記載の組成物。

【請求項4】

請求項1から3のいずれかに記載の組成物の造形品またはフィルム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

カリウムカチオンを存在させずに、実施例2の組成物のLCPを作製すると、融点は4

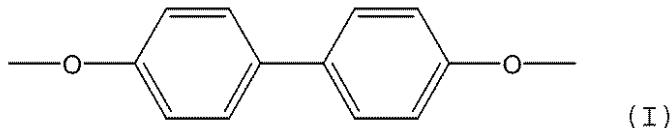
24であり、そのポリマーの色はより暗いものであった。

以下に、本発明の好ましい態様を示す。

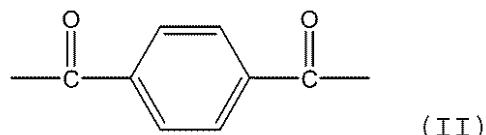
[1] 次式：

【化2】

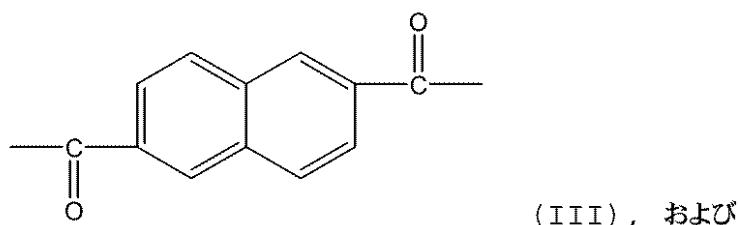
(a)



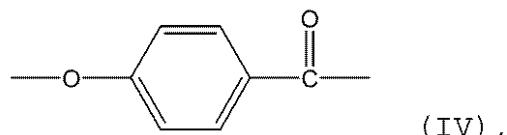
(b)



(c)



(d)



(式中、(I)の100モル部に対して、(II)は85～98モル部であり、(III)は2～15モル部であり、(IV)は100～210モル部であって、
ただし、

(I)/(II)+(III)のモル比が、約0.90～約1.10であり、

(IV)が175モル部以上のとき、(III)が2～10モル部であり、および

前記液晶ポリマーの融点が400以上であることを条件とする)の繰り返し単位から本質的になる液晶ポリマーを含むことを特徴とする組成物。

[2] 約3～約10モル部の(II)が存在することを特徴とする[1]に記載の組成物。

[3] 90～97モル部の(III)が存在することを特徴とする[1]または[2]に記載の組成物。

[4] 約100～約175モル部の(IV)が存在することを特徴とする[1]～[3]のいずれか1項に記載の組成物。

[5] 3～約10モル部の(II)が存在し、90～97モル部の(III)が存在し、および約100～約175モル部の(IV)が存在することを特徴とする[1]に記載の組成物。

[6] 前記融点が約410以上であることを特徴とする[1]～[5]のいずれか1項に記載の組成物。

[7] 前記モル比が約0.95～約1.05であることを特徴とする[1]～[6]の

いずれか 1 項に記載の組成物。

[8] 5 ~ 約 1 0 0 0 p p m のアルカリ金属カチオンをさらに含むことを特徴とする [1] ~ [7] のいずれか 1 項に記載の組成物。

[9] [1] ~ [8] のいずれか 1 項に記載の組成物の造形品またはフィルム。